

平成 30 年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
北海道地域セミナー 報告書

日時	2018（平成 30）年 7 月 25 日（水） 13：00－16：00
会場	北海道庁別館西棟 3 階 1 号会議室
参加者	27 名 （北海道教育庁 5 名、推進校および関係教育局担当者 17 名、オリンピック・パラリンピック有識者 4 名、日本体育大学 1 名）
プログラム	13：20 開会挨拶 北海道教育庁学校教育局健康・体育課 課長 山上和弘 13：25 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」について 日本体育大学 特別研究員 乳井勇二 14：05 北海道の取組 北海道教育庁学校教育局健康・体育課 主査 内海久 14：15 意見交流 14：30 質疑応答 14：55 校種別協議 15：55 閉会挨拶 北海道教育庁学校教育局健康・体育課 主幹 山城宏一
内容	開会にあたり、北海道教育庁学校教育局健康・体育課課長の山上氏より挨拶があり、続いて、大学側より本事業の趣旨や目的、本事業におけるオリンピック・パラリンピック教育について説明を行った。北海道は本事業への参画が初年度となるため、推進校となった学校についても不明な点も数多く、オリパラ教育へのイメージしづらいため、他地域の事例紹介に時間を割いた。 北海道教育庁からは、ねらいとスケジュール、具体的な取り組み内容、実施にあたる留意事項、教材の紹介について説明があった。特に計画立案から実施までの流れについての説明が丁寧に行われた。質疑については推進校および管轄教育局より、多くの質問があった。先述したように参画が初年度であるため、不明点をできるだけ解消し、地域セミナーを終え、計画・実践に繋がられるよう丁寧な説明を心がけた。 意見交流の際には北海道オールオリンピアンズ川端絵美氏、永瀬充氏より、2017 年に札幌で開催されたアジア大会での例を挙げ、スポーツの価値や共生社会についての助言をいただくことができた。 校種別での協議の際には横のつながりを深めながら進めていけるよう不安な点などを中心に意見を出し合いながら協議することができた。 北海道での事業開始にあたり、事業方針の確認と他地域での実践事例を共有し、地域一丸となってオリンピック・パラリンピック教育を推進していくことを確認することができた。



会場の様子



教材紹介